

ゲーム・スマホ等利用時における安全対策について ～「スマホ時代の子育て」より～

おもちゃの対象年齢同様、ゲームやアプリにも「〇歳以上」という年齢区分があります。子どもがスマートフォンやゲーム機を使うようになると、ゲームの内容が、子どもの年齢に合っているのか不安に感じることもあると思います。そのような場合には、**年齢区分マーク（レーティング）**を確認し、子どもの発達に応じたものを選ぶようにしましょう。

〇年齢区分マーク（レーティング）

ゲームソフトやアプリには、「〇歳以上」という**年齢区分マーク（レーティング）**が表示されています。



□表示されている年齢区分マーク
例えば、「3+」は「3歳以上」という意味になります。

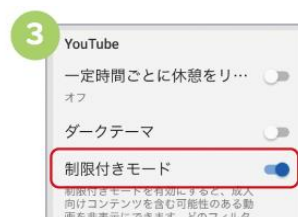
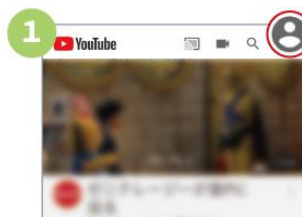


【YouTube「制限付きモード」の利用方法】



17+
年齢

例えば、YouTubeのスマホアプリは17歳以上が対象年齢となっています。制限付きモードに設定すると、アダルトコンテンツが含まれる可能性がある動画は表示されなくなります。



【制限付きモードの設定の方法】

- ①アカウントにログインし、右上にあるプロフィール写真をクリックします。
- ②画面下部の「制限付きモード」をクリックし、表示される右上のボックスで、「制限付きモードを有効にする」をクリックしてオンとオフを切り替えます。

〈参考〉（内閣府）「低年齢層の子供の保護者向け普及啓発リーフレット」

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_use/r01/leaf/pdf/leaf-2.pdf